

クロハグルマエダシャク

夏にイヌツゲの葉を食べる緑色のシャクトリムシ（幼虫）。最大長約20mm，口が前を向き，尾端のイボ状の脚が横に広がる。まれに多発することがある。



1. 中齢幼虫，体長8mm. 1994/8/16.

函館市，イヌツゲ



2. 老齢幼虫，体長15mm，1994/8/19. 1を飼育.



3. 雄成虫，体長9.5mm. 1を飼育.

【学名】 *Synechia esther*

【分類】 チョウ目 (Lepidoptera) ， シャクガ科 (Geometridae) ， エダシャク亜科 (Ennominae)

【分布】 本州，四国，九州，琉球；台湾，中国。北海道ではこれまで分布記録がないようである。

【生態】

宿主：モチノキ科（イヌツゲ，モチノキ，クロガネモチ）。

年2回発生。卵越冬と推定されている。

函館市で1994年8月に幼虫の多発が観察された（写真の個体群）。

【文献】

1987. 杉敏郎，編。日本産蛾類生態図鑑。453 pp. 講談社，東京。

クロハグルマエダシャク shakuga/kurohagu/
kaisetuh.htm

「文章」 原秀穂, 北海道立林業試験場, 2001/4/2.

1yochu1.jpg, 1yochu2.jpg, 1seichu.jpg

「写真1～3」 原秀穂, 北海道立林業試験場, 1994.